

ご挨拶

会員の皆様におかれましては、益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。このたび、私ども日本大学におきまして、国際会計研究学会第39回研究大会を開催させていただきますことを大変光栄に存じます。

本大会につきまして、当初は参集型での開催に向けて準備を進めておりました。しかし、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行が収束しない状況のなかで、大学当局と何度も議論を重ねた結果、感染リスクを避けるために、本年度もオンライン型の開催とせざるを得ないとの判断に至りました。この間の経緯と私どもの事情をご理解いただき、迅速かつ適切なご指示を賜りました小西会長をはじめ理事会の先生方にはあらためて感謝申し上げる次第です。

本大会は統一論題として、「会計基準の国際移転」を掲げました。国際会計基準(IFRS)の適用については、グローバリゼーションとローカリゼーションの両方の動態的な側面があります。IFRSの多様な適用方法をふまえて、各国の会計制度の形成や会計技術の移転プロセスについて考察して頂きたいと思います。座長の小津先生をはじめ、これまで研究実績や実務経験を積み重ねてこられました先生方による活発な討論を期待しております。

また、本大会におきましては、日本において新たに創設されましたサステナビリティ基準委員会(SSBJ)の委員長を兼任されます企業会計基準委員会(ASBJ)委員長の川西安喜先生に記念講演をお願い致しました。さらに、韓国国際会計学会との長年の研究交流に基づく韓国セッション、および研究グループによる報告を例年通り予定しております。これに加えて、特に本大会では国際管理会計セッションを準備し、管理会計の側面から統一論題に接近して頂きたいと思います。

本大会のプログラムや各報告の要旨等につきましては、大会専用のWebサイトを開設いたしますので、ご確認頂ければ幸いに存じます。

大変ご多用のことと存じますが、皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

2022年8月吉日

国際会計研究学会 第39回研究大会 準備委員会

委員長：古庄修

委員：尾上選哉・小野正芳・勝山進・川野克典・紺野卓

武田紀仁・林健治・挽直治・村田英治・吉田武史

第39回 研究大会プログラム

第1日目 10月7日(金)

学会賞審査委員会(ZOOM開催) 14:00～15:30

理事会 (ZOOM開催) 15:30～17:30

第2日目 10月8日(土)

開会の挨拶 9:00～9:05

自由論題報告(報告25分 質疑10分) 9:05～11:00

第1会場

司会 林 健治(日本大学)

第1報告 加納 慶太(県立広島大学) 9:05～9:40

「クラウド会計による会計業務の変容-会計専門職へのインタビューに基づく考察-」

第2報告 許 英姿(明治大学) 9:45～10:20

「Softbank Groupによる子会社Sprintの減損非計上
にみる減損会計の特質」

第3報告 苗 馨允(椋山女学園大学) 10:25～11:00

「日本における退職給付会計基準の変容過程」

第2会場

司会 山崎 秀彦(専修大学)

第1報告 三原 園子(関東学院大学) 9:45～10:20

「有価証券報告書の虚偽記載に関する考察-日本とアメリカ合衆国の比較-」

第2報告 須藤 修司(公認会計士) 10:25～11:00

「『基礎的監査概念(ASOBAC)』の再検討」

記念講演 11:10～12:10

司会 齋藤 真哉(横浜国立大学)

講師 川西 安喜

(企業会計基準委員会(ASBJ)委員長・サステナビリティ基準委員会(SSBJ)委員長)

演題 「わが国におけるサステナビリティ開示基準に関する取り組み」

会員総会 12:15～13:30

統一論題報告・討論 13:50～17:30

「会計基準の国際移転」

座長 小津 稚加子(九州大学)

座長解題 13:50～14:00

第1報告 井上 定子 14:00～14:40
(兵庫県立大学)

「会計基準の国際移転 -IFRSとローカルGAAPの共生可能性-」

第2報告 齋藤 雅子 14:40～15:20
(関西大学)

「会計教育の国際移転を考える -インドネシア次世代高等教育基盤の形成に向けて-」

第3報告 鷲地 隆継 15:20～16:00
(有限責任監査法人トーマツ)

「会計制度の国際移転 -日本におけるIFRS任意適用の意義-」

< 休憩 10分 >

討論会 16:10～17:30

コメンテーター 與三野 禎倫
(神戸大学)

第3日目 10月9日(日)

自由論題報告 (報告25分 質疑10分) 9:00~10:55

司 会 中野 貴之(法政大学)

第1報告 武田 紀仁(日本大学大学院) 9:00~9:35
「メディア・コンテンツの会計慣行に基づく財務情報と株式価値との関連性分析」

第2報告 奥原 貴士(四日市大学) 9:40~10:15
「組織再編成功企業の投資効率性と財務報告の質-のれんと将来業績に着目した実証分析-」

第3報告 譚 鵬(関西学院大学) 10:20~10:55
「IFRS任意適用が負債による資本調達に及ぼす影響」

韓国セッション 11:00~12:15

詳細が決まり次第、学会ホームページでご案内します。

<https://jaias.org/>

国際管理会計セッション 13:10~14:20

モデレーター 川野 克典(日本大学)

討 論 者 伊藤 久明(有限責任あずさ監査法人・公認会計士)
岩佐 泰次(株)ディーパ・公認会計士

演 題 「管理会計制度の在外子会社への移転問題」

研究グループ報告 14:30~15:30

司 会 小形 健介(大阪公立大学)

報 告 主査 角ヶ谷 典幸(一橋大学)

「日本的会計諸制度の変容と課題」(最終報告)

(以上、敬称略)

参加登録手続き

- (1) 本研究大会は、オンライン開催となります。
本研究大会へのご参加については、下記の大会Webサイトの参加登録フォームからの参加登録とお支払い手続きをもって参加申し込みとさせていただきます。
参加登録フォームの案内に従い、ご登録ください。参加登録された会員の皆様に、事前にお知らせするZOOM(Web会議システム)の招待URLにより、各自参加して頂くことになります。

大会参加申し込みページ
<https://jaias2022.peatix.com/>

- (2) 参加費は事前決済とします。
現金でのお支払は受け付けておりませんので、何卒ご容赦ください。
当日のWebサイトからの参加手続きも受け付けております。
なお、お振込みいただきました金額については、原則として払い戻しをいたしませんのでご了承ください。

参加費 2,000円 (非会員は3,000円)

- (3) 参加者の方は、事前にZOOMアプリのダウンロードを推奨します。

CPE単位認定のご案内

本研究大会に参加される日本公認会計士協会会員の方には、CPEの単位が認定される予定です(CPE認定申請中)。
研究大会への参加登録の際に、必要事項を入力のうえ申請してください。
詳細については、学会Webサイト(<https://www.jaias.org/>)でご確認ください。

国際会計研究学会 第39回研究大会

Japanese Association for International Accounting Studies
The 39th Annual Conference

2022年10月7日(金)~9日(日)

日本大学

統一論題

「会計基準の国際移転」



国際会計研究学会第39回研究大会準備委員会

〒101-8360 東京都千代田区神田三崎町1-3-2

日本大学経済学部 古庄修研究室気付

E-mail : jaias2022@gmail.com